



くのへ

社会福祉法人 九戸村社会福祉協議会

社協だより

デイサービスで

ゆったり

のんびり



それっ！玉入れゲームはいつも高得点！

主 な 内 容

- 新役員のご紹介…………… P 2
- 令和2年度事業報告…………… P 3～5
- 令和2年度収支決算報告…………… P 6
- ボランティアのひろば…………… P 7
- インフォメーション…………… P 8



この広報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。



九戸村社会福祉協議会 新役員のご紹介

当協議会において任期満了に伴う役員と評議員の改選が行われました。
会長には日向和彦理事が選定されました。
選出された新役員と新評議員の皆さまをご紹介します。



日向和彦 会長

去る6月14日、社会福祉法人九戸村社会福祉協議会理事会において会長に選定されました日向和彦でございます。

九戸村職員在職時代には、九戸村社会福祉協議会事務局長も兼務させていただき、また職員退職後から現在まで民生委員として少しばかり地域の福祉活動に携わらせていただいておりますが、会長という任を仰せつかり重責を痛感しているところでございます。

さて、九戸村は6月30日現在の人口は5,529名、65歳以上の高齢者は2,435名で高齢化率44%の超高齢社会という現状で、昨年度の年間出生数は9名で少子高齢化が急激に進んでおります。また、ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦世帯、ひとり親世帯、生活困窮世帯の増加など、支援を要する方々が年々増加しており、国では「地域共生社会」（地域住民や関係団体などが主体となって、新たな地域のつながりを創っていく）を目指し、身近な地域でおきている問題を他人ごとではなく「我が事」ととらえ、「丸ごと」受け止める包括的な相談支援体制の構築を目指しております。当協議会でも、『ともに生き、ともに育み、安心して暮らせる地域社会を目指して』を基本理念に、平成31年度を初年度とした九戸村地域福祉活動計画を策定いたしました。本年度が3年目となりますが、昨年度からの新型コロナウイルス感染症が長期化し、当協議会の活動においても多大な影響を及ぼしております。多人数のサロン行事、ボランティア行事、スポーツ大会等が中止または縮小せざるをえませんでした。介護保険事業、学童保育事業等においては、安心してご利用いただけるよう感染対策を徹底し、実施しております。

まだまだ長期化が予想されるコロナ禍において、いかにして人と人のつながりを絶やさないかが、現在大きな課題となっております。今後益々、地域住民のみならず、各関係機関、行政などのご協力いただき、九戸村の福祉の向上を進めてまいります所存でございますので、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人九戸村社会福祉協議会役員

任期：令和3年6月14日～令和4年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで

役職名	氏 名	所 属 団 体 等	役職名	氏 名	所 属 団 体 等
会 長	日 向 和 彦	有 識 者	理 事	藤 川 恵 子	九戸村地域婦人団体協議会
副会長	若 山 秀 一	九戸村民生委員児童委員協議会	理 事	和蛇田 達 也	社会福祉法人九戸福祉会
副会長	高 崎 覺 志	九戸村老人クラブ連合会	監 事	高 橋 治 巳	税 理 士
理 事	安 藤 サチ子	九戸村ボランティア連絡協議会	監 事	橋 本 幸 男	九 戸 村 監 査 委 員
理 事	平 中 昭 夫	九戸村身体障害者協会			

社会福祉法人九戸村社会福祉協議会評議員

任期：令和3年6月14日～令和6年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで

氏 名	所 属 団 体 等	氏 名	所 属 団 体 等
皆 川 真 紀	地 域 代 表	山 口 忠 一	九戸村民生委員児童委員協議会
下斗米 光 昭	地 域 代 表	細 川 富 雄	九戸村民生委員児童委員協議会
石 川 正	地 域 代 表	岩 崎 シ ミ	九戸村地域婦人団体協議会
下 村 美江子	九戸村ボランティア連絡協議会	南 雄二郎	九戸村老人クラブ連合会
葉 澤 博	社会福祉法人九戸福祉会		

令和2年度事業報告

令和3年度定時評議員会において、令和2年度の事業報告ならびに収支決算が承認されました。皆様からご協力いただいた会費及び補助金収入、受託金収入、介護保険収入を財源として様々な事業に取り組みましたので、ご報告いたします。

法人運営事業

当協議会の基盤事業であり、法人運営の効率化・組織強化を図るとともに、住民の参加と財政基盤の確立を目的として全世帯の加入を推進し、90.3%にあたる世帯より会費のご協力をいただきました。

一般会費収入 1,304,800 円 (1,864 世帯)

水中ウォーキング事業

水中で無理のない運動を行うことで体力の維持増進を図り、介護予防を資することを目的として実施。

- ・週2回開催、年間開催回数 78 回
- ・参加者延べ人数 423 名

地域福祉事業

○移送サービス事業

村内に居住する高齢者等を対象として、病院への定期通院時で月2回を限度とし、車椅子仕様車、及びストレッチャー仕様車で移送サービスを実施。

- ・利用者延べ件数 24 件

○給食サービス事業

食の自立支援事業として、独居高齢者・高齢者世帯の希望者に対し、安否確認を兼ねて週1回（水曜日）昼食を提供

- ・登録者数 16 件（令和2年度末）
- ・年間配食数 521 食

○金婚式開催事業

3年に1回開催している金婚式は、コロナ禍により記念撮影のみの実施となりました。

- ・開催日 令和2年11月20日
- ・参加人数 15組 30名



ボランティア活動推進事業

ボランティアの育成を図ると共に、各ボランティア団体活動への支援、各関係機関との連絡調整、企画立案等を行い、ボランティア活動の推進に努めました。

○ボランティア登録者数（令和2年度末）

- ・個人 27 名 団体 14 団体 (244 名)

○ボランティア育成事業

- ・災害ボランティア講習会 (コロナ禍により中止)

○ボランティア活動事業

- ・声の広報朗読ボランティア 延べ 35 名
- ・地域ごとふれあいサロン 3ヶ所 延べ 35 回開催
- ・給食サービス配達ボランティア 延べ 100 名 提供回数 50 回、521 食配達
- ・デイサービスボランティア (コロナ禍により中止)
- ・福祉バザーガレッジセール (コロナ禍により中止)
- ・子育てサロン (はまなすっこ広場) 参加者 0 名 子育てサロン室利用者延べ人数 12 名
- ・ふれあい交流会 (コロナ禍により中止)
- ・おでかけサロン (コロナ禍により中止)
- ・居住手作り会 (コロナ禍により中止)



給食サービスより「敬老御前」弁当

生活管理指導員派遣事業

介護予防、介護保険非該当の村内在住高齢者（概ね 65 歳以上）の日常生活支援を目的として実施。
・延べ派遣回数 35 回（利用者 1 名）

訪問介護事業

介護認定者を対象として、居宅において家事援助、身体介護、通院介助等日常の生活支援を実施。

○介護予防・日常生活支援総合事業

- ・年間利用者延べ人数 62 名
- ・年間派遣回数 312 回

○要介護

- ・年間利用者延べ人数 188 名
- ・年間派遣回数 3,325 回

デイサービス事業

日常生活支援を行い、閉じこもり防止、いきがいきづくり、介護度進行の抑制等を目的として、介護予防、介護認定者のデイサービス事業を実施。
・年間延べ利用人数 6,543 名

総合事業	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3,006	1,516	1,129	790	99	3

総合福祉センター管理運営事業

総合福祉センターでは、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、訪問看護ステーション、障がい者地域活動支援センター、居住部門、当協議会事務局等が業務を実施している他、機能回復訓練室の各機器及びカラオケルームは、デイサービスでの使用時間帯を除いて、広く住民に開放いたしました。

共同募金助成事業

○一般募金配分金

区 分	金 額 (円)	内 訳
老人福祉活動費	0	ひとり暮らし高齢者の集い事業
	0	おでかけサロン事業
	14,964	ヤクルト給付事業
	134,683	買い物支援事業
	93,000	ふれあいマッサージ事業
	37,353	高齢者総合相談事業
障がい児・者福祉活動費	20,000	地域活動支援センターエール活動費
児童・青少年福祉活動費	210,000	福祉協力校助成事業 7 校
	20,000	子育て支援事業（子育てサロン）
地域福祉総合支援事業費	71,781	ボランティアセンター運営事業
	20,000	ボランティア連絡協議会助成金
	26,019	スノーバスターズ活動事業
	82,600	ボランティア活動保険
	35,700	健康福祉大会事業
	98,880	心配ごと相談事業
	191,620	広報活動事業
計	1,056,600	

○歳末たすけあい配分金

区 分	金 額 (円)	内 訳
在宅者配分金	688,000	8,000 円× 86 名
施設配分金	151,500	村内 3 施設 利用者 123 名
地域福祉活動費配分金	197,000	村内通所介護 3 施設 利用者 214 名
計	1,036,500	

○ひとり暮らし高齢者の集い事業

（コロナ禍により、中止）

○おでかけサロン事業

（コロナ禍により、中止）

○ヤクルト給付事業

支援を要するひとり暮らし高齢者に定期的にヤクルトを給付することにより健康の維持増進を図るとともに、配達員によりその安否確認を行うことを目的として実施。

○買い物支援事業

買物支援を要するひとり暮らし高齢者を対象に送迎車輛の運行を実施。

第 1・3 水曜日 実施回数 22 回
登録者数 29 名 利用延べ人数 336 名

○ふれあいマッサージ事業

デイサービスを利用する高齢者の健康維持・介護予防を目的として有償ボランティアによるマッサージを実施。

・実施回数 93 回

○高齢者総合相談事業

日常生活における総合相談電話等で対応。

・相談件数 12 件

○福祉協力校助成事業

村内 7 校の福祉を支援。

○スノーバスターズ活動事業

高齢者世帯の生活路等確保と見守りを実施。

・見守り・除雪ボランティア 9 回 27 名

・有償除雪ボランティア 5 回

○健康福祉大会（表彰のみ実施）

福祉事業功労者 <感謝状>

九戸村地域婦人団体協議会 様

九戸村舞踊研究会 様

岩手県共同募金会会長感謝状の伝達

おりつめ工房 様

○心配ごと相談事業

弁護士による無料法律相談を実施。

・実施回数 6 回 相談者延べ件数 14 件

○広報活動事業 4 回発行

社協だよりを発行し、村の福祉、当協議会の事業についてお知らせ。

九戸村福祉基金造成事業

村全体の福祉に活用することを目的として、各団体・個人等からの寄付金を福祉基金として積み立てを実施。

- ・令和2年度末福祉基金積立額
26,473,991 円（内本年度分 2,598 円）

たすけ合い金庫運営事業

生活上又は医療継続上、その他生計維持のために一時的に現金を必要とし、かつ他から融資を受けることのできない方を対象として貸し付けを実施。

- ・令和2年度新規貸付 1 件 50,000 円
- ・令和2年度末貸付残高 9 件 328,500 円

生活福祉資金運営事業

岩手県社会福祉協議会からの貸付・債権回収業務の委託事業で、民生委員の協力を得ながら、所得の少ない世帯、障がい者世帯、高齢者同居世帯等に対して、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図ることを目的として実施。

- ・令和2年度末貸付在高件数 15 件
- ・令和2年度新規貸付
福祉資金 1 件 2,000,000 円
緊急小口資金（コロナ特例貸付）
2 件 300,000 円

地域活動支援センター（エール）運営事業

障がい者等の地域生活支援の促進を図ることを目的とし、創作活動又は生産活動の機会の提供と社会との交流促進に努めました。

- ・支援センター開所日数 241 日
- ・利用者延べ人数 464 名

障がい福祉サービス事業

障がい者が地域社会で自立した生活が送ることができるよう、居宅介護事業（ヘルパー派遣事業）を実施。

- ・延べ派遣回数 101 回

学童保育事業

勤労世帯における小学校児童のうち、放課後等に保護を要する児童を対象として遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るため、村からの委託を受け実施。

- ・令和2年度末登録人数 47 名
- ・令和2年度利用者延べ人数 7,356 名

高齢者就労支援事業

高齢者が追加的収入を得るとともに、健康を保持し、生きがいをもち、地域社会に貢献することによって、より有意義な生活を送ることができるよう、九戸村シルバー人材センターとともに村内の高齢者の就労推進を実施。

- ・令和2年度末会員数 71 名
- ・令和2年度受注件数 446 件
- ・令和2年度受注金額 21,670,076 円

居宅介護支援事業

対象者の生活機能、健康状態等を把握し、対象者に最もあったケアプランを作成するとともに、それに基づいて指定居宅サービス事業者との連絡調整等を実施。

- ・令和2年度ケアプラン作成件数 779 件
- ・令和2年度末サービス提供人数 70 名

日常生活自立支援事業

高齢者や障がい者が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、またそれにとりまう日常的な金銭管理を実施。

- ・令和2年度末利用者 2 名

福祉団体等への支援活動

当協議会では、各福祉団体等への支援、団体事務局を行い、活発な活動に繋げることを目的として、支援活動を行いました。

- ・九戸村共同募金委員会事務局
- ・九戸村老人クラブ連合会事務局
- ・九戸村身体障害者協会事務局
- ・九戸村ボランティア連絡協議会事務局
- ・九戸村シルバー人材センター事務局



令和2年度決算報告

貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	46,338,276	流動負債	8,411,470
固定資産	36,902,305	固定負債	1,418,826
(基本財産)	1,000,000	負債の部合計	9,830,296
(その他の固定資産)	35,902,305	純 資 産 の 部	
		基本金	100,000
		基金	26,473,991
		国庫補助金等特別積立金	2,088,627
		次期繰越活動増減差額	44,747,667
		純資産の部合計	73,410,285
資産の部合計	83,240,581	負債及び純資産の部合計	83,240,581

資金収支計算書

(単位：円)

(単位：円)

科 目	金 額
収入	
会費収入	1,304,800
寄附金収入	0
経常経費補助金収入	7,011,028
受託金収入	33,637,048
貸付金収入	77,000
事業収入	3,215,385
負担金収入	8,217,000
介護保険事業収入	64,303,588
障害福祉サービス等事業収入	223,870
交付金事業収入	1,579,000
受取利息配当金収入	2,924
その他の収入	187,268
事業活動収入計	119,758,911
支出	
人件費支出	81,988,614
事業費支出	27,015,099
事務費支出	10,058,496
貸付事業支出	100,000
共同募金配分金事業費	2,093,100
助成金支出	2,981,000
負担金支出	120,600
事業活動支出計	124,356,909
事業活動資金収支差額	△ 4,597,998

科 目	金 額
収入	
施設整備等収入計	0
支出	
固定資産取得支出	867,477
施設整備等支出計	867,477
施設整備等資金収支差額	△ 867,477
収入	
その他の活動収入計	0
支出	
基金積立資産支出	2,598
積立資産支出	328,422
その他の活動支出計	331,020
その他の活動資金収支差額	△ 331,020
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	△ 5,796,495
前期末支払資金残高	47,407,771
当期末支払資金残高	41,611,276



「高齢者・障がい者疑似体験および車椅子体験学習」

伊保内小学校4学年

令和3年6月15日、お年寄りや身障者の見え方や聞こえ方、体の動きを体験する事で、より良い接し方を考えたいと依頼を受け「ハンディキャップ体験」を開催しました。



ボランティアのひろば

九戸村ボランティア連絡協議会 新会長のご紹介

九戸村ボランティア連絡協議会の任期満了に伴う役員改選が令和3年度の総会で行われ、会長には細屋あつまらんか代表の細川育子さんが就任しました。

任期は令和3年4月～令和5年3月までとなります。



「できることを、できるときに」
お互い様の気持ちを大切に
支え合っていきたいと思います。
よろしくお願いいたします。

細川 育子 会長

福祉バザー

6月27日(日) まさざね館駐車場

昨年はコロナ禍で中止となりましたが、今年は感染対策を行い開催しました。



九戸村地域婦人団体協議会の採れたての野菜や食品が大盛況でした。



九戸村社会福祉協議会職員親睦会も参加しました。

売上の20%はボランティア連絡協議会の寄付活動に役立てられます。

インフォメーション・information

デイサービスセンターより



♪ お楽しみの昼食メニューは ♪



特別メニュー
七夕お膳



人気メニュー
ひつつみ

当協議会では、月曜日～土曜日にデイサービスを実施しています。
お風呂に入り、昼食をとり、趣味活動やゲームでゆったりのおんびり過ごしています。
利用に関する相談、見学等にも対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。(お試し利用もできます!!)

九戸村シルバー人材センター 会員募集

募集会員

- ・ 60歳以上の働きたい方！
- ・ 健康維持したい方！
- ・ 空き時間のある方！



お仕事は

**臨時的・短期的または短時間の就業で、
危険・有害ではないお仕事**

仕事内容

- | | |
|-----------|------------|
| ● 剪定 | ● 雪かき |
| ● 草取り、草刈り | ● 清掃作業 |
| ● 畑仕事 | ● 児童みまもり 等 |

※ 1時間810円～
(作業内容により異なります)

＜お問い合わせ先＞

九戸村シルバー人材センター（電話41-1200）

福祉サービス苦情解決相談窓口を設置しています。

当協議会で提供している福祉サービスについての苦情等の相談窓口を設置しています。

＜相談、苦情等の受付先電話番号＞

☎ 0195-41-1200

＜相談、苦情等の受付担当者＞

荒田ゆかり、安達さつき

＜第三者委員＞ 小田野幸、日影恵子

なお、下記においても苦情相談の受付をおこなっておりますので、気軽にご相談ください。

＜岩手県福祉サービス運営適正化委員会＞

☎ 019-637-8871

生活福祉資金貸付制度のご案内

当協議会では、失業や収入の減少により、世帯の生活の維持ができなくなった等、生活の立て直しのための様々な貸し付けの取り扱いを行っております。相談を希望される方は、地区の民生委員、又は当協議会までご相談下さい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によりお悩みの方へ緊急小口資金等の特例貸付を実施しております。

- 緊急小口資金
- 緊急小口資金コロナ特例貸付
- 総合支援資金
- 福祉資金
- 教育支援資金
- 不動産担保型生活資金

たすけあい金庫の貸付

- 利用できる世帯…低所得世帯又は一時的な生活困窮世帯で、村内に住所があり、地区担当民生委員が貸付を必要と認める世帯
- 貸付限度額…1世帯5万円以内
- 貸付の条件…村内に住所があり、返済能力のある65歳以下の連帯保証人1名が必要
- 貸付利子…無利子
- 返済期間…1年以内
- 返済方法…一括又は月賦返済

—— 編集・発行 ——

社会福祉法人

九戸村社会福祉協議会

〒028-6502 九戸村大字伊保内7-39-4

(九戸村総合福祉センター内)

TEL 0195-41-1200 FAX 0195-42-2064

ホームページアドレス <http://www.kunohe-shakyo.jp/>

